

## 2023年度 第2回理事会議事録

日 時 2023年6月30日 19:00～

場 所 WEBミーティング

### 〈出席者〉

林(会長/大島HP),加藤木(副会長/前橋保健所),鎌塚(上毛HP/副会長),中嶋(代議員/県立精神医療センター),横澤(顧問/くわのみらい),福永(ケ・クリニック),片山(ア카데미),小林(あぜりあホーム),番場(あけぼの),永尾(赤城高原HP),富澤(西毛HP),天笠(監事/三枚橋HP),狩野(事務局長/田中HP),原島,藤井(事務局/田中HP)

### 〈林会長挨拶〉

皆さんこんばんは。先日の総会ではお世話になりました。これまで全国大会に向けてこのメンバーで取り組んできましたが、今年度で役員改選となります。すでに6月、上半期も終わりになり年度末まで各事業にそれぞれ取り組んでいただき、来年度は法改正という大きなこともありますし、虐待防止など新しい法律の下で取り組まれることもあるため、そういったところも踏まえみなさんとやっていきたいと思っております。

今回も議事が多いので皆さんの忌憚のないご意見をいただきながら進めていきたいと思っております。

## 1 事務局報告

### 1) 2023年度群馬県精神保健福祉士会定時総会報告(林会長/事務局原島)

詳細は割愛させていただく。みなさんのご協力を得て無事総会を終えることができた。久しぶりの対面の開催で、会としては総会を対面でできたことはとても良かったと感じている。後半は時間が厳しくみなさんに説明するのも大変だったのでは。来年度は前半もバランスよくトピックを絞り、みなさんに報告できると良いのでは。

当日は理事を含め26名の参加者。これらを含め最終的な評決は群馬県精神保健福祉士会61%、公益社団法人日本精神保健福祉士協会群馬支部61%となった。

### 2) 新規入会者、退会者について(事務局藤井)

#### 〈入退会者〉

- ・前回理事会2022年12月22日から23年6月30日までの入会希望者18名。ただし、この中の1名、4月25日に入金5,000円をいただいているが、入会届が出ておらず所属先も不明な方がいる。また表記もカタカナとなっている。  
→入会はすべて承認。不明の方については状況を確認しながら対応。
- ・退会希望者は7名。うち会費未納者2名。  
→退会承認。未納者については担当理事にて声掛けを行う。
- ・退会届を提出せず転居してしまい、その後の連絡が取れない方がいる。勤務先のみでの登録だったため勤務先にも確認をしたが連絡先は不明とのこと。
- ・退会届だけ提出されているが、県士会に入会していない方がいたため、記載されているメールアドレス宛に日本協会と誤認していないか、というレスポンスはしているが、その後は何も連絡がない。  
→対応ありがとうございます。

#### 〈その他〉

- ・入会当初は職場が群馬県内、住所が隣県で登録されていた方で、転職され職場も隣県になった方がいる。すでに2024年度分までの会費はお支払いいただいている。どのように対応するか、ご検討いただきたい。県士会の会則では、住所と職場のどちらかが群馬県内である必要がある。また準会員は資格保有していない人と規定している。  
→ご本人に規定の説明を行い、入会継続か退会かの意思確認を行い、会費返納についても確認してはどうか。  
→今後のことを考慮し、正会員、準会員の取り扱いについては今年度中に会則の改定も必要なのでは。

- 会長が認めたもの、原則として等の表記であってもよいのでは。
- 事務局より規定を説明しご本人の意思確認を行う

〈未納者について〉

- ・現在未納の方も多くいるため、改めてリストでお知らせする。

3) 精神保健参与員・精神保健福祉審議会委員推薦等（狩野事務局長）

前回理事会でお名前をいただいた方を以下の通り推薦している。

- ・群馬県精神保健参与員 福永理事(ケン・クリニック)
- ・群馬県精神保健福祉審議会委員 神尾美樹さん(群馬労働局)
- ・犯罪被害者支援ハンドブック改正については、修正されたものをChatworkで共有しているのでご確認いただきたい。

4) 表彰推薦他（林会長/狩野事務局長）

- ・令和5年度保健事業等功労者知事表彰  
昨年度は県立精神医療センターの米山さんを推薦した。今年度は狩野事務局長を推薦でどうか。  
→異議なし
- ・令和5年度群馬県社会福祉協議会会長表彰  
昨年度は横澤代議員を推薦した。長く会に貢献していただいている方を表彰したい。  
→3役、事務局で確認調整し、推薦者を決める。

5) 群馬県多職種連携協議会（鎌塚副会長）

群馬県医師会、看護協会、作業療法士会、介護福祉士会等々集まった。医療と介護の連携会議を3か月に1回程度開催するなど各地域で協議されている。伊勢崎地域では包括がアウトリーチをして8050への対応や、未受診の方のもとへ出向くなど行っている。

災害関係では当会でも行っているが、有事に備えた訓練を各会でも行っているといった報告があった。社会福祉士会の新木会長から、行政の方に緊急時に各団体で災害時の連絡網があると良いのでは、と提案があった。介護報酬の報酬改正の説明もあった。老健入所者の自己負担があがるため利用者が減ってしまうのではといった懸念が挙げられた。ソーシャルワーカーデーについてもご案内してきた。

6) 群馬司法書士会 業務事故防止対策特別委員会（林会長、加藤木副会長）

群馬県司法書士会内で問題のあった会員に対しどのように対応したらよいかという課題に対し、司法書士会内で委員会を立ち上げた。要請があったためその委員会に参加し、考える対応をお話した。

また、メンタルヘルスに問題があると思われる方への対応について意見が欲しいという内容もあり、県士会として参加しているので、ここに報告させていただいた。今後もこういった対応を求められることがあるかもしれないので、承知いただきたい。

7) 群馬県医療ソーシャルワーカー協会 東部ブロック研修講師派遣（林会長）

6月29日、講師として精神障害者の人権に関して60分話してきた。Zoomだと情報は届くが情緒、感じていることが画面と通して伝わりにくく、どの位関心を持っていたのか分かりにくかった。

相模原事件の時にもソーシャルワーカーデーで取り上げたが、医療ソーシャルワーカーは何を感じるのだろうか、といった意見もあった。精神障害者であろうが、高齢者、児童であろうが、人権が侵害されているといったことに対する感じ方の格差があるように感じた。滝山病院、神出病院のことについてだいぶ時間を割いたが、あまり伝わらなかったかもしれない。

- 精神科を特殊なものとしてとらえているのかもしれない。
- 業務の中で(その感覚差を)感じることはないか？一般病院で精神科の患者を手術してくれないとか、

- 入院病室に精神科病院名が書かれていたり「精神科は違うもの」といった印象を受けることがある。
- 少し落ち着かない方の転院依頼があり、受け入れるとそんなに状態が悪くないことも。
- ふれあいバザーやピア活動も活用していけると良いのでは。
- 民生委員の集まりにピアの方にリカバリーストーリーを話していただいたことがある。その時の反応はすごく良かった。来てほしいという声があったが、コロナでなくなってしまった。
- グループホーム入所者で一般病院が受け入れてくれないなどの経験はある。相談支援事業所として一般病院に連絡しても情報をいただけないのでは、といった心配もある。
- 民生委員は高齢者関係のつながりは多いかもしれないが精神障害関係とはあまりないのでは。災害時の避難情報なども当事者が手を挙げる形になるため、実際に挙げられるのか、という課題もある。ピアサポーターの方も健常者に話をするのが怖いと感じている方もいる。顔出しできる人も少しずつできてはいるが、今後もピアサポーターの活動ができていくと良いと思う。
- 精神障害者の退院促進に対してMSWより叱咤激励もあった。
- 退院促進も必要だが地域定着も両輪として必要なのでは。

#### 8) 自殺対策SNS相談 委託業者選定にかかる審査員（林会長）

こころの健康センターの佐藤先生から依頼され、群馬県でLINEでの自殺対策を行うにあたり、その業者の選定のための審査員として参加した。東京の業者が3社手をあげているため、4日間で膨大な資料に目を通したが謝礼はゼロ。この事業が自殺対策に本当に効果があるかはわからないが、こういった新しい取り組みを県としてやっていきたいということで、話し合って選定した。  
このSNS相談は7月1日から稼働することのこと。

## 2. 日本精神保健福祉士協会関係

### 1) 2023年度日本精神保健福祉士協会総会（中嶋代議員）

8月18日に開催され、総会は成立した。総会後に社会的復権について研修会があった。会員数が増えていないとの話があった。来年の全国大会開催地は兵庫県に決定した。日程は2024年9月27日、28日の予定と報告された。

### 2) 都道府県支部担当者向け説明会

8月11日(金/祝)に開催される。総会でも研修制度に関する動画を流したが、基幹研修担当理事にて出席いただきたい。事務局にて調整し日本協会へ報告を。

### 3) こころのケア相談研修受講者人選

7月12日締め切りとなっている。先日Chatworkで共有しているが、まだ決まっていない。昨年は災害支援に関連性が高いのではないかとということで災害対策委員の長坂さんに参加していただいたが、実際には災害支援には特に関連性がなかった。  
日本協会構成員の方でお願いしたい。小林理事はどうか。  
→小林理事了承。

## 3. 2023年度第2回定例会関連

### ・8月18日(金)開催予定 北部ブロック担当

BCPについて災害支援委員会と共催予定。県障害政策課の宮本さんに講師を依頼。会場はこころの健康センターを予定しているが、会場予約開始が1か月前のため未確定。参集型。  
内容としては「障害福祉サービス事業者における業務継続計画（BCP）について」としている。障害福祉サービス事業者としているが病院などにも落とし込める内容とのこと。実際の事業につなげる形で考えていたが、精神保健福祉士としてその概要を知って、自分のところでいかに精神保健福祉士として役に立っていけるか、そういったBCPについて考えていけるか、ということで、概要を説明していただく

ことになっている。

- 本日、会場の状況を確認したが予定日が使えなかったため、県総合福祉センター等を検討している。事務局で確認でき次第報告する。
- 講師への連絡調整は担当理事が行う。
- 開催案内はおおむね1か月前には発送を予定。7月2週目あたりにすべて整うと発送できる。
- チラシは災害支援委員会にて作成予定。

#### 4. 群馬県ソーシャルワーカー連盟（GFSW）について（林会長）

群馬県内ソーシャルワーカー3団体で連盟を設立することを総会で承認してもらった。7月29日に行われるソーシャルワーカーデーの後半で連盟設立するため協定書を作成中。3団体会長で細かいところを詰めている。

- ・来年度から予算が必要となる。そのため、ソーシャルワーカーデー、災害関係、保証人問題についての取り組み、広報誌については連盟の予算として活動していく見込み。
- ・事務局はその年の会長がいる団体が、3団体連盟の事務局を担うことになった。今年度は当会。

#### 5. 各事業報告

##### 1) 教育研修委員会（小林理事）

総会でもお伝えしたが、9月10日に第1回研修を予定。内容は障害年金についてこころの健康センターにいた社労士の浅田さんに講師を依頼。大島病院坂本さん、ケン・クリニックの三井田さんにも協力いただき、事例検討や障害年金にまつわるクイズ、みんなでディスカッション、グループワークなどを盛り込み、初任者の方にもわかりやすい形で開催したいと考えている

##### 2) ソーシャルワーカーデー委員会（事務局藤井）

総会でお伝えした以降は特に新しい情報はないが、7月29日開催に向けて最終調整をしている。7月10日が最終の全体会議予定。その前に当会だけの会議を開催したいと考えている。すでに案内はみなさんのお手元にも届いているかと思う。集合型で開催するので多くの方に参加いただきたい。お近くの方への声掛けもお願いしたい。本日現在で31名の申し込みがあった。

##### 3) 基幹研修Ⅰ委員会（富澤理事）

総会での報告通り11月18日に開催予定。その前に2回会議を予定。第1回目を7月14日、Zoomで行う予定。

##### 4) こころのふれあいバザー展委員会（鎌塚副会長）

打ち合わせ会議があった。県担当者、福田先生にもご参加いただいた。バザーを行うにあたり各病院に県からアンケートを出し意見を聞いたが、各病院としてはコロナが5類になったとはいえ、沖縄などが感染急拡大していることも考えると、参加することに心配があるとの意見が多かった様子。

来年、福田先生が退官されるということで、今後のふれあいバザーの在り方もどうしていくか、話し合っていくこととなった。

結論として開催するか否かは決定していないが、7月2週目くらいに開催について答えを出すことになるが、ちょっと厳しいのでは、という印象。

当会としてはコロナ禍で精神科病院もより閉塞感も強まっているため、最低限の形でもよいので開催したほうが良いのでは、という意見を伝えてきた。

##### 5) 政策提言委員会（片山理事）

会員の意見をどのように集約していくかを委員会でも検討していきたいと考えている。

6) 災害支援委員会 (永尾理事)

6月12日に第1回委員会を開催。各地の震災、豪雨被害の状況など日本協会から来た情報をオープンチャットに挙げるようにしている。

ソーシャルワーカー3団体の災害支援交流会について、今年度は当会が幹事。ソーシャルワーカーデーが終了後、動き出す予定。

日本協会から補助金を受け開催している首都圏災害ネット研修についてはおそらく今年度も開催予定。

これまで当会が補助金申請を担当していたが、今度は他県に依頼する予定。

士業団体による被災者等相談会についてはまだ連絡がないため待ちの状況。

DWAT5期生登録研修推薦者については桐木クリニックの本多さんから希望があった。

→本日の入会承認を受け推薦書提出とする。

7) 司法ソーシャルワーク委員会 (加藤木副会長)

群馬テレビで弁護士会の活動を紹介する番組、枠がある。そこでぐんま・つなごうネットの活動を紹介してもらうことになった。当会から原島さんが登壇する。7月25日放送。

委員会として模擬裁判を予定しているが開催が難航しそうだったところ、弁護士さんが裁判所に交渉していただき道が開けてきた状況。

検察庁から依頼があり2件ほど支援に行ってきた。去年は2~3件だった。

8) 倫理委員会 (中嶋代議員)

6月21日、Zoomで委員会を開催。委員長は高崎健康福祉大学の白鳥さん。

改めて委員会の趣旨を確認した。基本的には以前お伝えしたようにジャッジではなく相談ができる場として開かれた形にしていきたいと考えている。活動案としてグループワークの研修会や、共有する場を開くなど検討している。また倫理委員会について広報していきたいと考えている。

9) 広報委員会 (福永理事)

7月に入って会議を開催するために日程調整中。ホームページを調整したりしている。公式LINEを開設したが、登録者数が80数名の状況。会員数は200名を超えているので登録者数を増やしたい。理事の皆さんも登録いただき、お近くの方にも声掛けしていただきたい。

広報誌は9月発行を目指し準備中。サロンについても調整している。

→LINE登録者を増やすために、研修開催時等に声掛けしていただくと良いのでは。

10) 自殺対策委員会 (狩野事務局長)

司法書士会と協働でということだが、まだ実質ない状況。今後調整していく。社協の補助事業として行う予定のため補助額を取りすぎてしまった印象がある。

林会長から司法書士会に連絡していただき、調整していきたい。

11) 全国大会関連 (事務局原島)

愛媛大会参加のためのエアチケット予約者を募集中。8名以上必要だが、現在7名。運営委員を対象にしているため、改めて運営委員の皆さんに声掛けをしたい。トップツアーズのホテルはキャンセルで良いかと考えている。

打ち上げ会については福永さんに希望日を集計していただき、本日締め切りで開催日は9月8日(金)の予定。会場は前橋駅前を予定。3役でまた話し合いたいと考えている。会場が決まり次第、参加確認の連絡を回したいと考えている。

この日に合わせて、退官予定の福田先生か佐藤所長にお越しいただき、厚生労働省からの表彰をその場で授与させていただくよう県と調整している。

## 12) その他

- 委員会の議事録等を書面で提出することについて  
会の活動としてしっかりと報告することが必要であると考え。できるだけ書面で速やかに事務局に挙げた方が良いのではないかと。総会議案書作成時にまとめて報告することになると事務局の負担が大きい。議事録として文書での報告をしていただいた方がより良いと思う。  
→改めて報告書をいただけるのであれば、Chatworkに上げていただきたい。
- 議事録等を以前は会員が見られるようになっていたが。  
広報委員会としては、ホームページの会員専用ページに公開していきたいと考えている。各委員会と相談していきたいと考えている。広報委員会としてもその点についてはまだ詰められていない。今年度中には調整していきたい。

## 6. その他報告事項/検討事項

### 1) 前橋市市会議員からの連絡について (事務局原島)

本日、前橋市市会議員の三森和也氏から、前橋市に認知症のデイケアを作るため精神保健福祉士を募集しているが、協力いただけるか、との問い合わせをいただいた。当会として斡旋はできないが、求人情報をいただければ会員MLやSNS等でご紹介することはできる、とお伝えした。

その流れで、三森氏から何かご協力できることがあるかもしれないので、当会から話を伺いたいとの申し出をいただいた。ひとまず役職者にもその旨伝える、と回答。こちらに来所して伺いたいということだったため、要旨等についてお知らせいただくよう事務局メールアドレスをお伝えした。

当会より積極的に働きかけるのであれば連絡先は確認しているので、事務局にて調整する。

### 2) 事務局変更について (狩野事務局長)

平成17年より田中病院で事務局を務めさせていただいているが、変更をお願いしたいと考えている。事務局としての意向をまずは理事会に報告し、会として事務局変更をご検討いただきたい。

- 実質的に事務局運営するのに何名くらい必要か

→入退会等会員情報整理、定例会や対外連絡調整、統括の割り振りで3名。発送作業は概ね2か月に一度、その時に参加できる会員に協力を依頼している。印刷を業者に依頼しているわけではないので、それら書類を印刷するため印刷時間がかかる。封入発送にそれほど時間はかからない。

突発的な問い合わせ等は、3役をお願いできているので、何かあれば相談してから対応することができる。また、ここ最近はクレーム的な内容の連絡はない。会についての問い合わせ、入会等についての問い合わせはあるがそれほどの負担にはなっていない。

入退会など会員状況の把握には時間がかかる。記入事項の処理対応に悩んでしまうこともある。発送のためのラベル作成等時間がかかってしまう。

理事会議事録作成には時間を要している。

単に事務局作業だけで良ければよいのだが、複数の事業に参加しているため負担も増えている。

- 紙媒体から移行できれば事務量は軽減されるか
- 実際に入退会届け等は紙で貰うよりもGoogleフォームでいただいた方が集計しやすい。
- 退職された信頼できる方に依頼するなど考えても良いのでは。
  - 会員全員を取り込むようなSNSツールを採用したほうが、連絡や情報伝達が楽になるのでは。社会福祉士会はLINEWORKSの承認がでたとのこと、そういったツールに移行していった方が良いのではないかと思う。
  - 会員数も増えていることから、組織の運営の仕方なども含めて現理事で共有し、次の理事につなげていくことも必要なのでは。今年度はそういったところも検討していきたい。

### 3) その他

- 医療計画策定部会に参加している。今年度2回部会が開かれている。会議後にその会議内容について資

料が届いたらそれを改めて共有させていただきたい。基本的には「にも包括」に絡めて見直しをしていく形になっている。医療計画策定部会なので、医療に特化した形の内容にはなっている。この部会は精神保健福祉審議会の下部組織としてある。

- クロザピン/クロザイルを使用している病院があるかと思う。現在、上毛病院、三枚橋病院、群馬病院、西毛病院、サンピエール病院、赤城病院が使用している。院内処方に対応しているか、院外処方に対応しているか。対応できる準備はしているが実際処方していないところがかかなりある。実際に取り扱っていて服用している患者さんがいるところはあるか。
- クロザピンを使用するためには血液内科と連携しながらといった細かな規定がある。クロザピンを使用している医療機関が少ない。医療観察の関係でもスタンダードにしていく方向だが、精神科救急入院料を算定するために加算でクロザピン使用率も関係していたかと思う。導入を進めているのかと思うが、処方箋薬局が4件程度しかない。その他は院内処方もしくはまだ使用していないのか。院内処方だと本人の居住地と通院先が遠い場合に対応ができないケースも出てくる。入院時に使用していても地域で使用できなければ地域に戻りにくくなるなど不利益が生じる可能性もある。
- 医療観察の会議でもクロザイルの話は出ている。登録はしているがまだ実際に使用しているところは少ない様子。血液内科の担当医が変わってしまう、ということもある。
- 研修を受けた薬剤師がいなくなるといったこともある。コーディネーターの研修を受けた看護師やワーカーがやめてしまうこともある。
- クロザピンが全国的にもスタンダードになりつつある。
- 今後も情報共有していきたい。

<文責：原島>